

事業計画書

事業名	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業
団体名	小金原みんなでわくわくする会
事業概要	
<p>老人から孫まで、四世代がより健康で安全・豊かな生活ができる居住環境を実現するため、小金原地区における地域活動をSDGsの視点から再構成し、全世代参画のもと、助け合える魅力あるまちづくりを実現する。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>小金原地区は、松戸市でも高齢化が進んでいる地域と言われておりますが、その現状把握は十分でなく、また、若い世代へ街の魅力を十分に伝えられていないため、このままでは、「町内会活動は年寄りがやるもの」というとらえ方で、コロナ禍の中、ますます町内活動が停滞してしまう。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>四世代が、健康で安全・豊かな生活ができる災害に強い居住環境を実現するため、従来からの地域活動をSDGs活動の一環として整理・進化させ、相互の協力体制による「ありがとう！」のまちづくりを目指す。</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>【SDGsの2項目に整理し、次世代の担い手を増やす地域住民活動】 SDG 3; あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活と福祉の確保・推進 SDG11; 安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境の実現</p> <p>1) SDGsの理解と現活動の整理・進化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外部講師を招いて「SDG's×地域活動」をテーマとした勉強会を実施。 ② SDGs3,11項に関係した地域活動を見直すワークショップの実施 例(1)ごみの管理と清掃活動(町会) (2)高齢者支援活動(老人会) (3)児童支援活動(民生委員) (4)地域防災・防犯(防災リーダー・防犯委員) <p>2) 町内会のSWOT(強み弱み)分析作成による活動マトリックス</p> <ol style="list-style-type: none"> ① SWOT分析の勉強会 ② 全世代を入れて、現活動の良い点、悪い点を書き出す。 ③ 各項目の改善、対策案を具体化列記する。 ④ 具体項目をSDGs項目に分類、整理する。 ⑤ 即対応可能なこと、予算が必要なものを仕分けする。 ⑥ 案件毎のリーダーを決める。 ⑦ 具体的活動の実施。 <p>【対象】 小金原地区の3丁目を中心とした周辺住民 特に町会に参加していないが地域活動に関心のある次世代</p>

2 スケジュール		
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
2022/4	・第1回 SDGs 勉強会 講師招いて勉強会実施 ・チラシ作成・配布	実施体制;運営委員、外部講師 (SDGs プラットフォーム水畑先生 他)、地域住民有志 対象;地域住民 場所;小金原市民センター
2022/5	SWOT 分析実施 第2回 SDGs 勉強会 講師招いて勉強会実施	実施体制;(同上)、対象;(同上) 場所;(同上)又は町内会館
2022/6	SDGs 該当項目の具体的 案件抽出	実施体制;(同上)、対象;(同上) 場所;(同上)
2022/ 7,8	SWOT 分析の SDGs 項目 落とし込み整理	実施体制;(同上)、対象;(同上) 場所;(同上)
2022/9	活動キック・オフ 各案件のリーダー選任	実施体制;(同上)、対象;(同上) 場所;小金原市民センター
2022/ 9~12	活動実施	実施体制;(同上)、対象;(同上) 場所;(同上)または市民センター
2023/ 1~3	・活動報告と見直し とりまとめ ・チラシ作成・配布	実施体制;(同上)、対象;(同上) 場所;(同上)または市民センター
既存の事業から ステップアップす る部分 (ステップアップ 助成のみ)	スタートアップ助成のため該当なし	
事業の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. SDGs 活動の概論理解;全構成員(10名)、地域住民(50名) 2. SDGs に関連した活動としての意識付け;全構成員、掲示板及び回覧板に掲載 3. SWOT 分析の方法と活用の理解;全構成員(10名)、地域住民(50名) 4. SWOT 分析表の完成;掲示板及び回覧板に掲載 5. アクション計画書の作成と四世代の参画;15~80歳までの活動メンバー 6. 具体的活動の実施;実施状況進捗の掲示板及び回覧板に掲載、活動計画の80%達成 	
今後の展望	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上記活動を定着させ、次年度ステップアップ助成が申請できるように具体的な改善を推進し、推進ロードマップを作成する。 2. 若手世代の居住率向上と非居住住宅の実態把握を図る。 	

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 60,000	事業費の一部を団体会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 60,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 160,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 80,000	SDGs外部講師謝礼 40,000円x2回
	消耗品費	¥ 6,400	SDGs、SWOT 勉強会資料 用紙；1.1円 x 5P x 100セット x 2種 インク；2650円 x 2
		¥ 4,840	ブレインストーミング (SWOT分析で抽出した案件⇒SDGs活動テーマ) 模造紙；110円(4枚) x 10枚 マジック；110円 x 12本x2色 用紙；1.1円 x 1000枚
	印刷製本費	¥ 20,000	・活動説明 ・活動成果 チラシ印刷 5円 x 2000枚x2回
	使用料及び賃借料	¥ 20,760	会場費 市民センター；930円 x 3時間 x 2回 三丁目会館；400円 x 3時間 x 8回 市民センター；930円 x 3時間 x 2回
		対象経費の合計 (D)	¥ 132,000
その他経費	食糧費	¥ 28,000	勉強会・会合のお茶代 100円 x 50人x4回 100円 x 10人x8回
	その他経費の合計 (E)	¥ 28,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 160,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。